

中期経営計画2018-2020の概要～第1章 安全・安心の追求～

- 第1章では、i-DREAMs[®]等の新技術を活用した確実・効率的な維持管理、大規模更新・大規模修繕事業の推進、道路啓開をはじめとした災害対策の強化、交通安全対策の推進、道路法違反車両対策の強化、構造物の品質向上、工事の安全と生産性向上について、記載しています。
- 主な取組み内容及び目標は以下のとおりです。

大規模更新・大規模修繕事業の推進



箇所	目標内容	時期目標
東品川棧橋・鮫洲埋立部	更新上り線 (暫定下り線) 供用	2020年 東京2020オリンピックパラリンピック競技大会まで
高速大師橋	新橋脚構築完了 (陸上部・河川部)	2021年3月まで

道路啓開をはじめとした災害対策の体制強化

災害発生時の迅速な対応

首都東京の社会インフラとしての信頼性を確保するため、大雪時の長時間の車両滞留や通行止めの長期化の回避をはじめ、地震や大雨・大雪等の災害発生時に、過去の経験を踏まえた適切な交通運用、お客様への適切な情報提供・安全な誘導を行い、迅速に対応します。

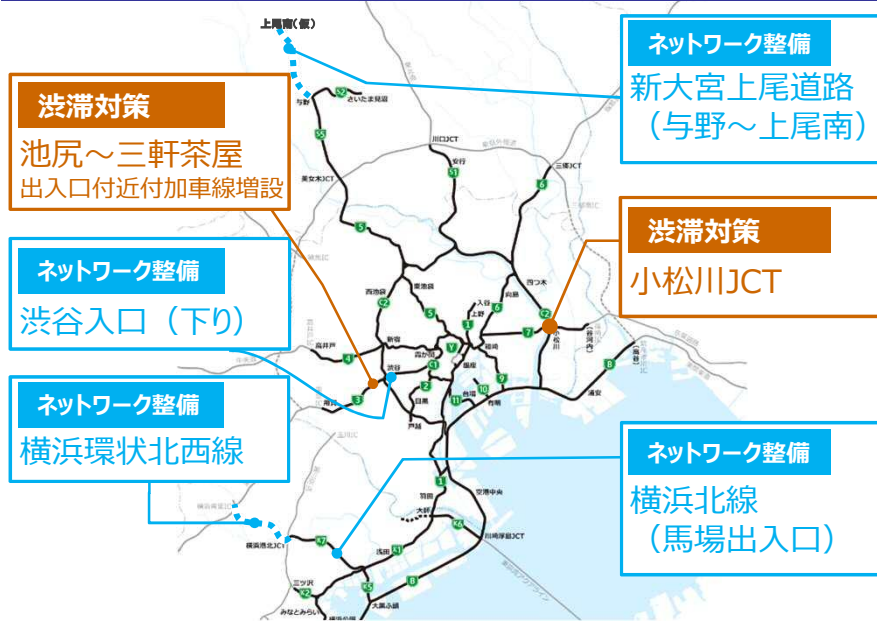


凍結防止剤(塩水)の散布状況

中期経営計画2018-2020の概要～第2章 快適・便利なサービスの提供～

- 第2章では、首都圏の強靱なネットワーク構築と渋滞対策の推進、既存ネットワークの有効活用、自動運転システム実用化への対応、美しい都市景観と快適な走行空間の創造、お客様への多様なサービス提供、新たな料金收受の取組み、料金所再配置について、記載しています。
- 主な取組み内容及び目標は以下のとおりです。

首都圏の強靱なネットワークの構築と渋滞対策の推進



箇所	目標内容	時期目標
横浜環状北西線	横浜環状北西線 開通	2020年 東京2020オリンピックパラリンピック競技大会まで
小松川JCT	小松川JCT 完成	2020年3月まで

お客様への多様なサービス提供

革新的な交通情報提供サービスの開始と新たなプラットフォームの開発

パーソナル端末(スマートフォン等)による、音声応答・双方向ディマンド型の時系列・走行位置に応じた適切な交通情報の提供及びホームページとの連携を図ります。また、最新技術(AI、プローブ、5G等)を取り込んだ新たなプラットフォームの開発を進めます。



赤文字：高度化・最新技術の導入箇所

中期経営計画2018-2020の概要～第3章 新たな事業領域への挑戦～

- 第3章では、既存事業の運営等ノウハウを路外で活用した事業への挑戦及び推進、既存事業の強化、社会情勢の変化に対応した新規事業の開発、施設改善の実施、技術コンサルティング事業の拡大について、記載しています。
- 主な取り組み内容及び目標は以下のとおりです。

関連事業収益目標

関連事業収益(連結)※

72億円

(2020年度目標値)

※駐車場・休憩所・コンサル・不動産事業等の収益(受託事業は含まない)

既存事業の強化

飲食・PA事業においては、より魅力的な店舗運営を進めるとともに、新規出店や公園との一体的な整備を進めます。不動産事業についても、更なる展開を図ります。

不動産事業の展開

不動産事業実施箇所数

**新規4箇所
(累計6箇所)**

(2021年3月まで)



研修所跡地活用後のイメージ

技術コンサルティング事業の拡大

1959年から60年にわたり、首都高の計画・建設・維持管理・交通運用で培った技術力やノウハウを活かし、国内外で技術コンサルティング事業を拡大していきます。

技術コンサルティング事業受注金額

15億円

(2020年度目標値)

国内外InfraDoctor®事業の拡大



3次元点群データの計測



3次元点群データ・規制帯シミュレーションにおける確認状況

中期経営計画2018-2020の概要～第4章 技術開発の推進、第5章 経営基盤の強化～

- 第4章では、技術開発の推進、知的財産の活用、民間新技術の活用、技術基盤開発の強化について、記載しています。
- 第5章では、首都高グループの信頼性向上、首都高グループの組織力の強化、環境施策への取り組み、コスト縮減の推進、活力あふれる職場づくりや人材育成に向けた取り組みについて、記載しています。
- 第4章及び第5章における主な取り組み及び目標は以下のとおりです。

技術開発の推進

技術開発の推進

首都高が直面する課題に対応するため、技術開発テーマの設定から事業化までをPDCAサイクルで総合的にマネジメントし、質の高い研究・開発を推進します。

技術開発件数

10件
(毎年度)

知的財産の活用

研究・開発により発案した技術や知的財産等は、道路の建設・維持管理等に適用・活用し、さらに事業領域を拡げ社会に役立てます。

また、それらの活動を促すために最新の情報・知見・技術開発成果を取り入れ、マニュアル等の整備を推進します。

技術活用件数

25件
(毎年度)

経営基盤の強化

首都高グループの信頼性向上

- コーポレートガバナンスの確保
- リスク管理の徹底と意識向上
- CSRの取り組みの推進

コスト縮減の推進

- 新設・改築・更新事業の創意工夫
- 効率的な維持及び修繕管理業務の推進
- 効率的な料金收受業務の推進
- 施工方法の工夫によるインセンティブ助成の申請

インセンティブ助成申請件数

10件
(2021年3月まで)